

2011年4月

民俗 — No. 2

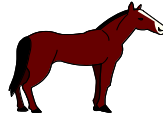
けんぱくものしりシート

オシラサマ



オシラサマは、東北地方の青森県と岩手県・宮城県を中心に、目の神様・蚕の神様・家の神様として信じられてきました。岩手県内では、北上山地や沿岸地方でたくさんのオシラサマが祭られています。

男性や馬、女性の顔が墨で書かれたり、彫られたりしています。オシラサマは二体一組で祭られることが多いようです。



岩手県に伝わるオシラサマの体は、長さ30cmくらいのクワの木や竹などで作られています。



ふだんは神棚やほこら、箱に収められています。



1枚の布きれでできた服を何枚も重ねて着ています。オシラサマのお祭りの日（1月16日に多い）に、新しい服を着せると伝えられています。



服で頭をかくしていないオシラサマ（貫頭衣）と、服で頭をかくしているオシラサマ（包頭衣）があります。



体に年号が書かれたオシラサマもあります。

岩手県では大永5（1525）年の年号がある

オシラサマが見つかっています。



オシラサマで自分の体をなでたり、たたいたりすると病気が治ると信じられています。



オシラサマのお祭り



オシラサマのお祭り (山田町)

オシラサマのお祭りの日には、オシラサマをまつ
っている家のおばあさんや主婦、親せきや近所の女
性たちが集まります。もちや団子などをお供えし、
オシラサマに新しい布を着せて拝み、手で持って
動かして遊ばせます。

また、オシラサマは子どもと遊ぶことが好きなの
で、子どもにオシラサマをおんぶさせたり、ゆすつ
たりさせて遊ばせることもあります。

オシラサマの言い伝え

「オシラサマを拝んだら病気が治った」
「オシラサマに祈ったら目が見えるよう
になった」「家が火事にあった時守ってく
れた」など、病気やわざわいから家や家族
を守る神様として信じられているオシラ
サマですが、「大人がオシラサマを粗末に
扱うとたたりを起こす」「一度オシラサマを拝むと一生 拝み続けなければな
らない」「オシラサマをお祭りする家の人や鳥やけものの肉を食べると口が曲
がる」などといわれ、おそれられています。

オシラサマを拝む人は少なくなりましたが、今でもオシラサマをお祭りす
る家もあり、とても大事にされています。



オシラサマのお祭り (一戸町)

参考にした本 『北上地方のオシラサマ』 北上市立博物館 1998年 / 『岩手民間信仰事典』 岩手県立博物館 1997年 /
『岩手県立博物館調査研究報告書第23冊』 いわてオシラサマ探訪』 岩手県立博物館 2008年 他

来月(5月)の
けんぱくものしりシートは
現勢・生物-2だよ!
おたのしみに!



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>